

～ その1輪が、愛しくて・・・ ～



例年よりも春の訪れが早い今年。桜の花も咲き始めましたね。学校や公園、土手などで見る満開の桜並木はとても美しく、毎年のことながら多くの人の目を楽しませてくれています。でもわたしは3月の初めに、満開の桜並木を見るよりも感動する花に出会いました。それは、わたしが育てている盆栽の梅の花です。

5年前、まだ盆栽を習い始める前にホームセンター買ったもので、買った年と次の年までは花が咲いたのですが、それ以降は葉っぱばかりで花は咲きませんでした。剪定(せんてい) (枝を切って形を整える)のやり方が間違っているのかと思って剪定するのをやめたり、肥料をたくさんあげてみたり、一緒に鉢にいる他の木が邪魔をしているからいけないのかと思って梅だけを違う鉢に植えてみたり・・・試行錯誤しながらも花が咲かない年が3年続きました。ところが今年になってから、枯れ枝のように何も無い枝に小さな丸いつぼみができていたのです。それは4つだけでしたが、うれしくてうれしくて毎日学校に来る前に眺めながらその成長を楽しみにしていました。そして暖かくなってきた3月初めに急につぼみが大きく膨らみ、ついに待ちわびていた梅の花が1輪咲いたのです。我が家には大きな梅の木があり、すでに数えきれないほどの梅の花が咲いて満開でしたが、わたしにとってはこのたった1輪の梅の花が、愛しくてたまりませんでした。



盆栽というと、サザエさんに出てくる波平さんが育てているような大きくて立派な松のイメージが強いかもしれませんが、私の育てている盆栽には、梅の他にも桜、キブシ、バラ、サツキ、ツバキなど花が咲くものがたくさんあります。季節ごとに花が咲くのですが、実際に花を見られる期間は短く、また木が小さいので咲く花も多くはありません。今回の梅や今咲いているツバキのように、数えるほどしか花が咲かないものがあります。

でもそのわずかな花を咲かせるためにも、毎日水をやりながら健康観察をして、元気がない、病気になりそう・・・というときには肥料をあげたり消毒をしたりするし、よけいな枝や芽が出てきたときには、早めに切り取って体力を奪われないようにしたり。そんな風にとっても手間がかかるし、毎日の健康観察を欠かせないけれど、新しい芽が出た、つぼみができた、花が咲いた、紅葉した、実がなった・・・大きな木を見ては気がつかない小さな変化に、一喜一憂する楽しみが、盆栽にはあるのです。そして小さい木だからこそ、少ない花だからこそ、1輪の花が咲いたときの喜びは大きく、ひとつひとつが愛しくてたまらないのです。

さて、3月10日に上尾橋高校の卒業式が行われ、3年生の卒業を見届けました。卒業前に違う進路を選択する生徒が少なくない上尾橋高校では、この日に卒業証書を受け取ることは簡単なことではなかったかもしれません。300人、400人の卒業生を見送る学校に比べたら小さな卒業式かもしれませんが、わたしにとっては卒業証書を受け取ったひとりひとりが、まるで小さな1輪の花のように愛しくてたまりませんでした。それは、ひとりひとりの顔を見て、入学から今までいろいろありながら、時には学校をやめたいと言いながらここまでたどり着いた日々を思い浮かべていたからかもしれません。そしてなによりも、入学したときと比べて立派に成長したみんなの姿が頼もしかったからでしょう。



それと同時に、途中で進路変更をして今はここにいない生徒の顔も思い出していましたが、(弱った盆栽も、植え替えといって土や器を変えることで元気に生まれ変わることがあるので)ここを去った生徒たちも新しい場所で1輪の花を咲かせていることを願っています。またこの上尾橋高校にいる間に花が咲かなかったとしても、水や肥料のように、勉強や先生や友だちとの関わりの中で学んだことは、ひとりひとりの根っこ(心)を育て、やがて花を咲かせると信じています。

このほけんだよりを読んでいるほとんどの人は4月から進級する人たちだと思いますが、この1年よくがんばりましたね。中にはちょっと悪い枝が伸びて(決まりを守らず)先生にバシ!と剪定(指導された)人もいたかもしれません。栄養不足(勉強が足りず)で枯れそうになった(進級が危なくなった)人もいたかもしれません。害虫がついたみたい(学校以外のことに夢中になって)、弱った人(やる気がなくなった)もいたかもしれません。

でも進級が決まっているのなら、気持ちを入れ替えて新しい学年を迎えましょう。そしてこの春休みの間に、肥料をあげるように、足りなかった勉強をやり直してみよう。学校以外のこと(遊びやゲーム SNSなど)に夢中になっているなら、この春休みに生活リズムを立て直して、まずは早寝早起きから始めましょう。



もし自分ではどうやって勉強していいかわからない、新学期が不安だ、どうせ自分なんてダメなんだ。そんな気持ちでつらくなったときには、担任や学年の先生、保健室に相談してください。良い方法を一緒に考えてみましょう。不安を感じているなら、あなたの不安を言葉に出して、一緒に確認してみましょう。どうせ自分なんてだめだと思う人は、あなたが1年間がんばったこと、あなたの良いところと一緒に探してみましょう。



私にとってはあなたが笑顔になること、あなたが元気になること、あなたが学校生活を楽しめるようになることは、1輪の花が咲くのと一緒くらいうれしいからです。そして同じような思いで、あなたに勉強を教え、あなたの悩みに耳を傾け、手を差し伸べてくれる先生たちが、この上尾橋高校にはたくさんいるからです。

4月から新しい学年、新しいクラスが始まると、仲の良い子とクラスが別れた。苦手な子が同じクラスにいる。授業が難しくわからない・・・など、困ったことや嫌だなと思うことが起きるかもしれません。もういやだ、学校に来たくない、橋高校なんてやめてしまいたい!! そんな話を保健室で聞くかもしれません。でもわたしはいつも、橋高校のあちこちでみんなの笑顔の花が咲くこと、そして橋高校がみんなの笑顔で満開になることを願っています。保健室ではこれからも、ひとりひとりが笑顔になれるお手伝いをしたいと思っているので、困った時、どうしていいかわからないとき、自分はひとりぼっちだと感じたときにはいつでも保健室に来てくださいね。

4月にみんなにまた会えるのを楽しみにしています。

